

進化の実現 – 成長投資と株主還元の両立 –

デクセリアルズ株式会社

(証券コード：4980)

執行役員 経営管理本部長

寺下 和良

わたしたちのパーパス&ステートメント

Purpose

Empower Evolution.

つなごう、テクノロジーの進化を。

Empower Evolution.

Connect People and Technology.

Materiality

「技術」と「人財」の強化

10年後のありたい姿

- より広い領域でデジタル・テクノロジーの進化に貢献
- 社会的価値と経済的価値を創出し、持続的成長を実現

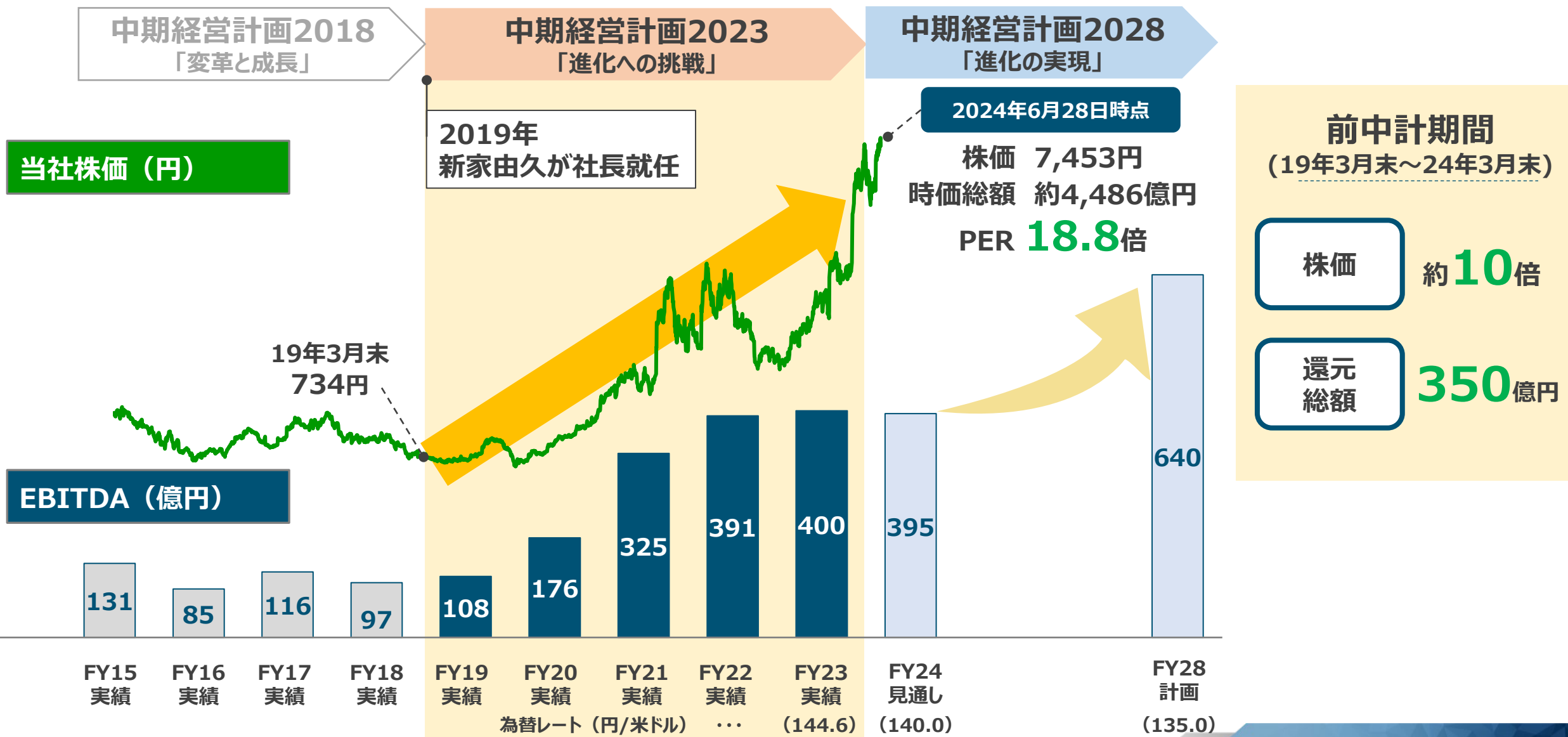
人と技術をつなごう。
社会と希望をつなごう。

デジタルテクノロジーの
進化に欠かせない材料やデバイス、
ソリューションを生み出して、
ここから世の中を変えていこう。

私たちデクセリアルズは、
お客さまと一緒に明日を思い描き、
課題を一つひとつ解決していく。
技術と人を巧みに掛け合わせ、
新たな進化を生み出していく。

さあ、今日も挑戦しよう。
もっと豊かで、もっと効率的な社会へ。
あらゆるステークホルダーが、
いつまでも心地よく暮らせる世界を目指して。

「進化の実現」に向けた礎を築き、更なる飛躍のスタートへ



1

デクセリアルズ株式会社について

2

持続的成長に向けた取り組み -中期経営計画2028-

3

株主還元

1

デクセリアルズ株式会社について

2

持続的成長に向けた取り組み -中期経営計画2028-

3

株主還元

デクセリアルズ株式会社（証券コード：4980）について

社名の由来

デクステラス

Dexterous

（巧みな、機敏な）

マテリアルズ

Materials

（材料・素材）

デクセリアルズ

Dexerials

様々な「材料」を「巧みに、機敏に」掛け合わせ
新たな材料・デバイス・ソリューションを生み出す企業

会社概要

設立	2012年6月20日 （前身のソニーケミカルは1962年設立）
本社	栃木県下野市下坪山1724
事業内容	電子部品、接合材料、光学材料などの製造・販売
資本金	16,251百万円（2024年3月31日現在）
従業員数	1,892名（連結、2024年3月31日現在）
上場市場	東京証券取引所 プライム市場
時価総額	約4,486億円（2024年6月末時点）

代表取締役社長 新家 由久

本社・栃木事業所（栃木県）



海外拠点 – 8つの国と地域でグローバルに事業を展開 –

デクセリアルズ ヨーロッパ



デクセリアルズ(蘇州)



海外**12**拠点

海外売上高比率 (FY23)

78 %

デクセリアルズ アメリカ
アトランタプラント



デクセリアルズ ヨーロッパ
フランクフルト支店

デクセリアルズ アメリカ
デトロイト支店

デクセリアルズ アメリカ

デクセリアルズ(上海)
深セン支店



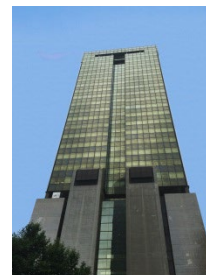
デクセリアルズ シンガポール



デクセリアルズ 台湾



デクセリアルズ(上海)
—エンジニアリングソリューションセンター—



デクセリアルズ 韓国
—エンジニアリングソリューションセンター—



国内拠点 – 北海道では、恵庭・上砂川にてフォトニクス事業を展開 –



恵庭事業所
(DXPS)



上砂川事業所
(DXPS)



登米事業所
(DXPS)



多賀城事業所
(デクセリアルズ)



西日本オフィス
(デクセリアルズ・DXPS)



東京オフィス
(デクセリアルズ・DXPS)



栃木本社
(デクセリアルズ・DXPS)



鹿沼事業所
(デクセリアルズ)

ソニーケミカルを前身として60年以上にわたり、世界に新たな価値を提供

1962
ソニーケミカル
創業

1987
東京証券
取引所
第二部に
上場

2000
ソニーによる
100%
子会社化
上場廃止

2012
日本政策投資銀行
などが当社株式を取得、
デクセリアルズとして
事業開始

2015
東京証券
取引所
第一部に
上場

2021
本店所在地
栃木県
下野市へ
変更

2022
・京都セミコンダクター子会社化
・東京証券取引所 第一部から
プライム市場へ移行
・デクセリアルズ創業10周年

2024
京セミ・DXPC
が統合し
DXPS発足
操業開始

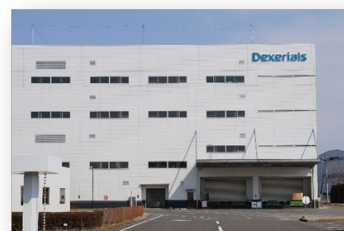
1977
異方性導電膜（ACF）



2002
反射防止フィルム



2007
光学弾性樹脂（SVR）



KYOSEMI
A Dexerials Company

当社の製品は、皆さんの身近な便利・安心・安全を支えています

オフィスや学校



例えば・・・

- ・ノートPC
- ・モニター
- ・プロジェクター
- ・サーバー

住まい



例えば・・・

- ・テレビ
- ・ノートPC
- ・コードレス掃除機や電動工具

街の中



例えば・・・

- ・スマートフォン
- ・タブレットPC
- ・自動車
- ・電動バイク

医療関係施設



例えば・・・

- ・人工呼吸器
- ・医療従事者向け防護具

当社製品×最終製品

反射防止フィルム



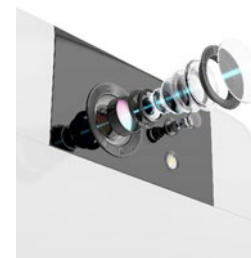
ノートPCディスプレイ等の光学機器の表面で発生する光の反射を抑制することで視認性の悪化を防止するための光学フィルムです

光学弾性樹脂(SVR)

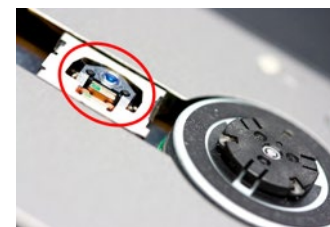


スマートフォン・タブレット・ノートPC等のディスプレイ内部にあるエアギャップを埋め、光の屈折・反射を抑える紫外線硬化型の弾性樹脂です

精密接合用樹脂



カメラモジュール



光ピックアップ

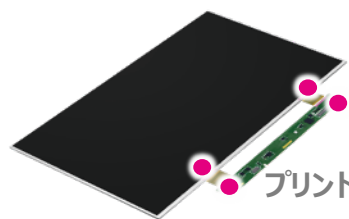
紫外線、熱、紫外線＋熱で硬化する接合用樹脂です。低温短時間での硬化と低収縮を実現する、スマートフォン等のカメラやセンサーのモジュールの精密接合に最適な接着剤です

当社製品×最終製品

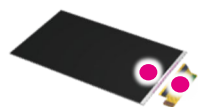
異方性導電膜(ACF)



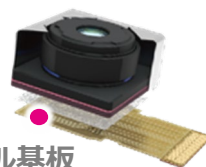
● 異方性導電膜(ACF)



大型ディスプレイ
(TV)



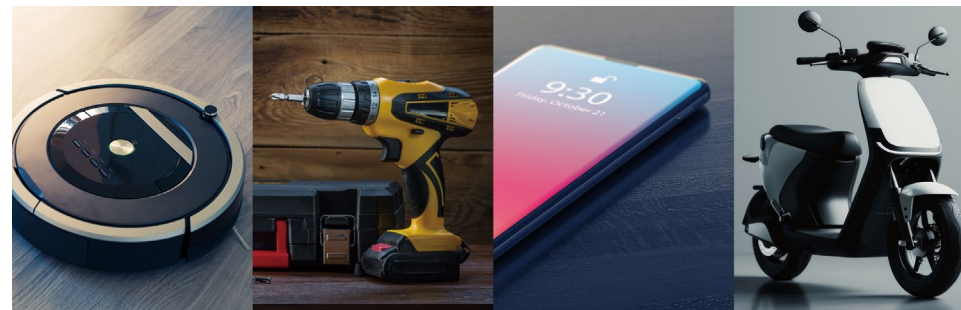
中小型ディスプレイ
(スマホ・タブレット・
ノートPC)



カメラ
モジュール

ほぼ全てのフラット パネル ディスプレイで使われるデファクト・スタンダードの接合材料です。熱硬化性の樹脂に導電粒子を分散させた導電性の接着フィルムで、ドライバーICやセンサーモジュールと、基板を導電接続します

表面実装型ヒューズ



リチウムイオンバッテリー搭載の電子機器を安全に使用するための二次保護回路ヒューズです。リチウムイオンバッテリーの「過電流」と「過充電」時にヒューズエレメントを溶断することで電池の安全性を向上させます

当社製品×最終製品

異方性導電膜(ACF)



光学弾性樹脂(SVR)



反射防止フィルム



自動車ディスプレイ



ディスプレイの電子化や画面の大型化・高精細化により、高い反射防止機能と防汚性能を持つ当社の反射防止フィルムの採用が進んでいます。その他にも、光学弾性樹脂（SVR）や異方性導電膜（ACF）等も自動車ディスプレイ向けに伸長しています

精密接合用樹脂



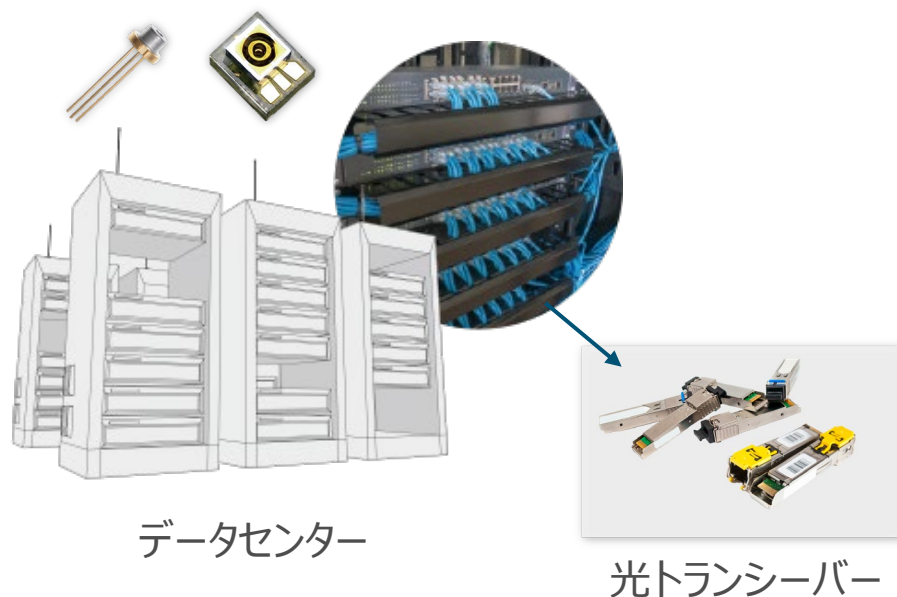
車載センサー



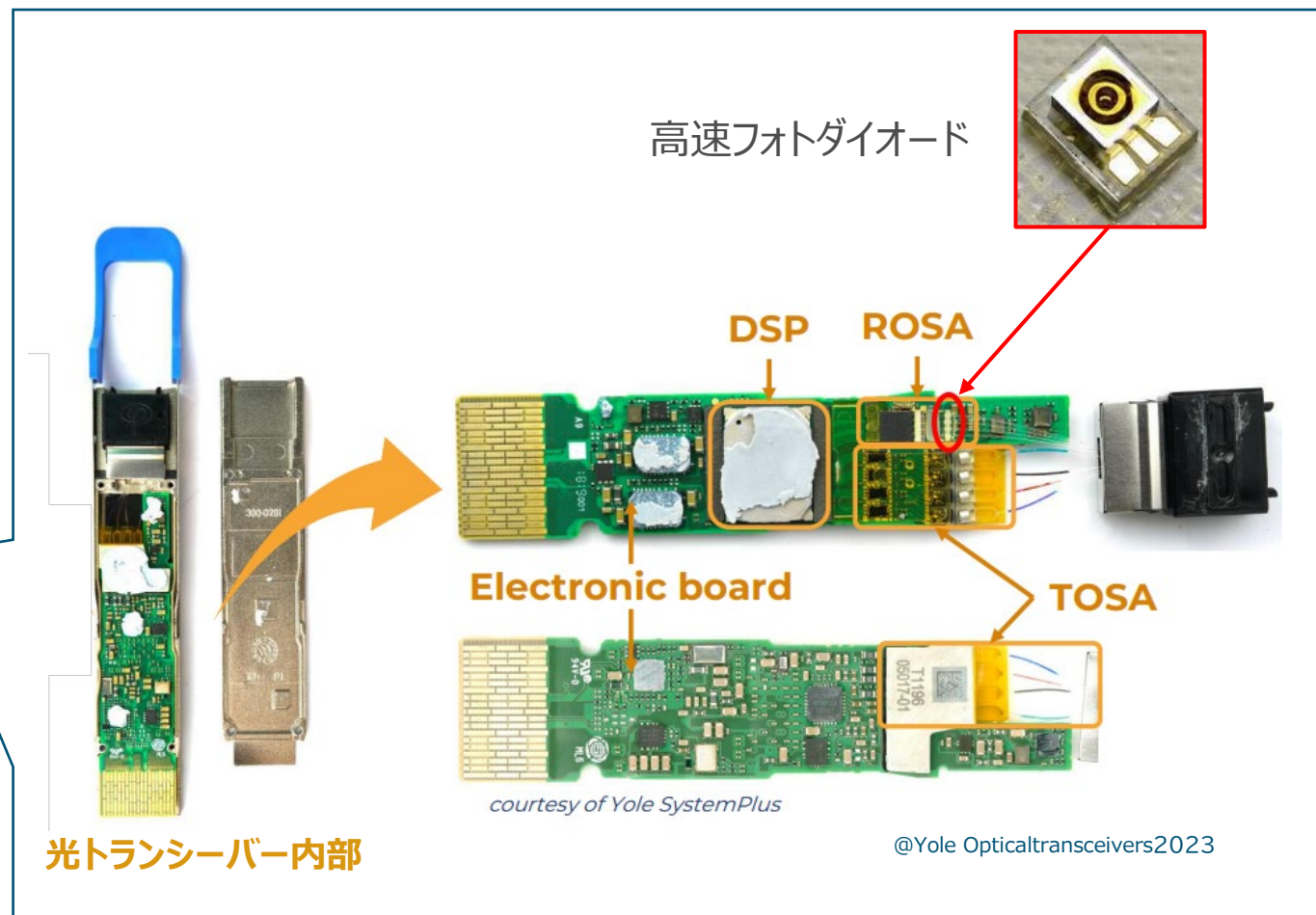
先進運転支援システム（ADAS）の進化に伴い、自動車一台あたりの車載センサーの搭載数が増加しており、センサーモジュール向けに当社の精密接合用樹脂の採用が進んでいます

当社製品×最終製品

光半導体デバイス



電気を光に、光を電気に変換する半導体素子を総称して「光半導体」と呼び、これらが組み込まれた電子部品が光半導体デバイスです。各種データセンター向け光トランシーバー等に当社製品が採用されています

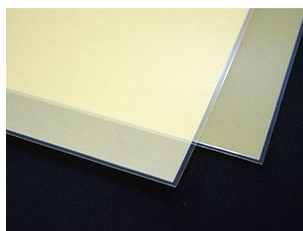


電子部品、接合材料、光学材料などを開発・製造・販売しています

光学材料部品事業セグメント



反射防止フィルム



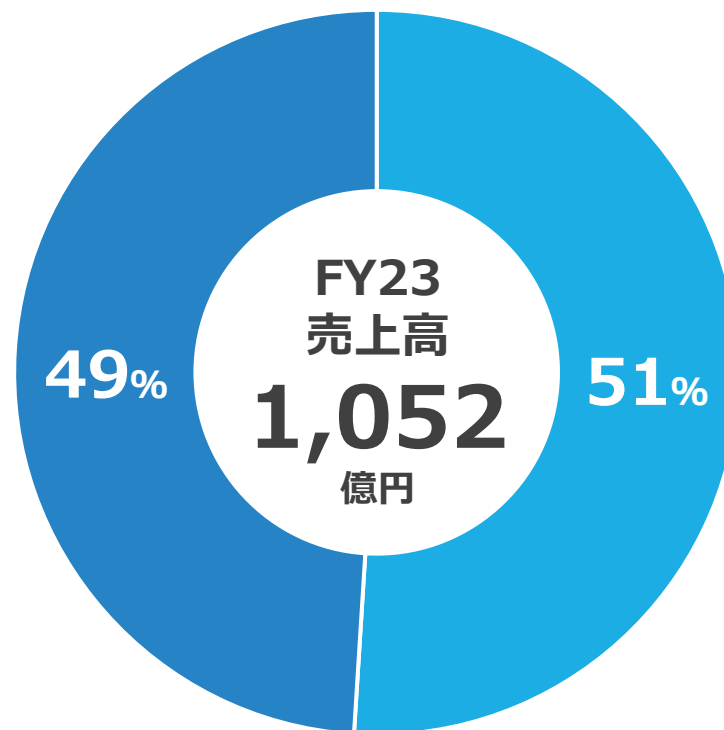
蛍光体フィルム



光学弾性樹脂
(SVR)



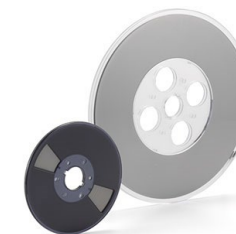
精密接合用樹脂



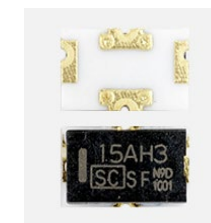
電子材料部品事業セグメント



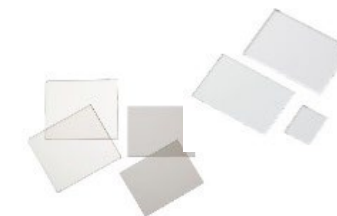
接合関連材料



異方性導電膜
(ACF)



表面実装型ヒューズ



マイクロデバイス



光半導体

主力製品はニッチな市場で世界No.1

世界シェアトップ[※]の高付加価値製品が生み出す高い収益性



異方性導電膜
(ACF)

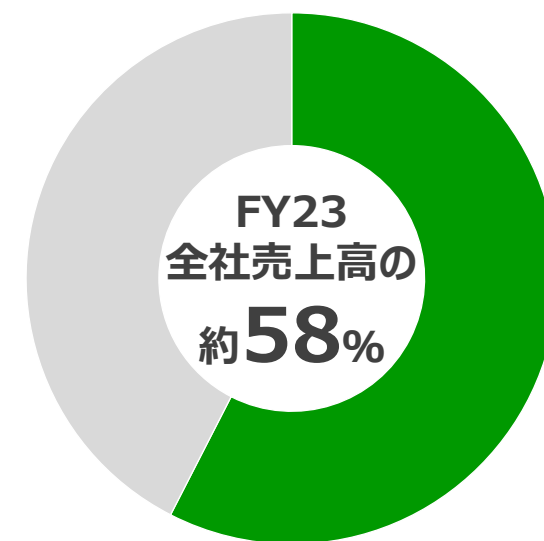


反射防止フィルム



光学弾性樹脂
(SVR)

主力3製品の売上高



FY23
全社営業利益率
約32%

※1: 株式会社富士キメラ総研発行「2023ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの合計の2022年の金額シェア。

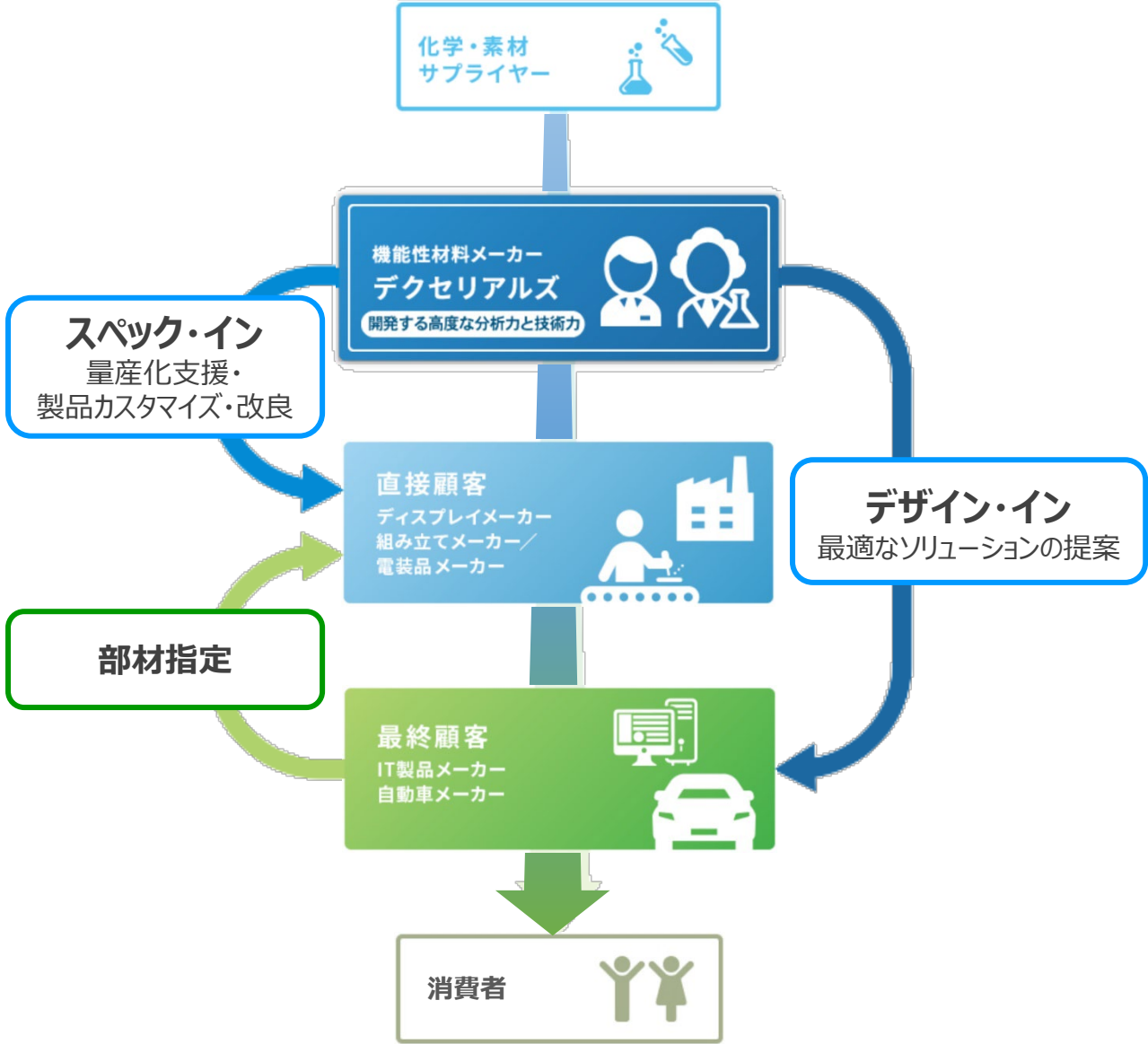
※2: 株式会社富士キメラ総研発行「2023ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム（ドライコート）の2022年の金額シェア。

※3: 株式会社富士キメラ総研発行「2023ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学透明接着剤（OCR/LOCA）の2022年の金額シェア。光学弾性樹脂（SVR）は、光学透明接着剤の当社製品名です。

価値創造の源 -ビジネスモデル-

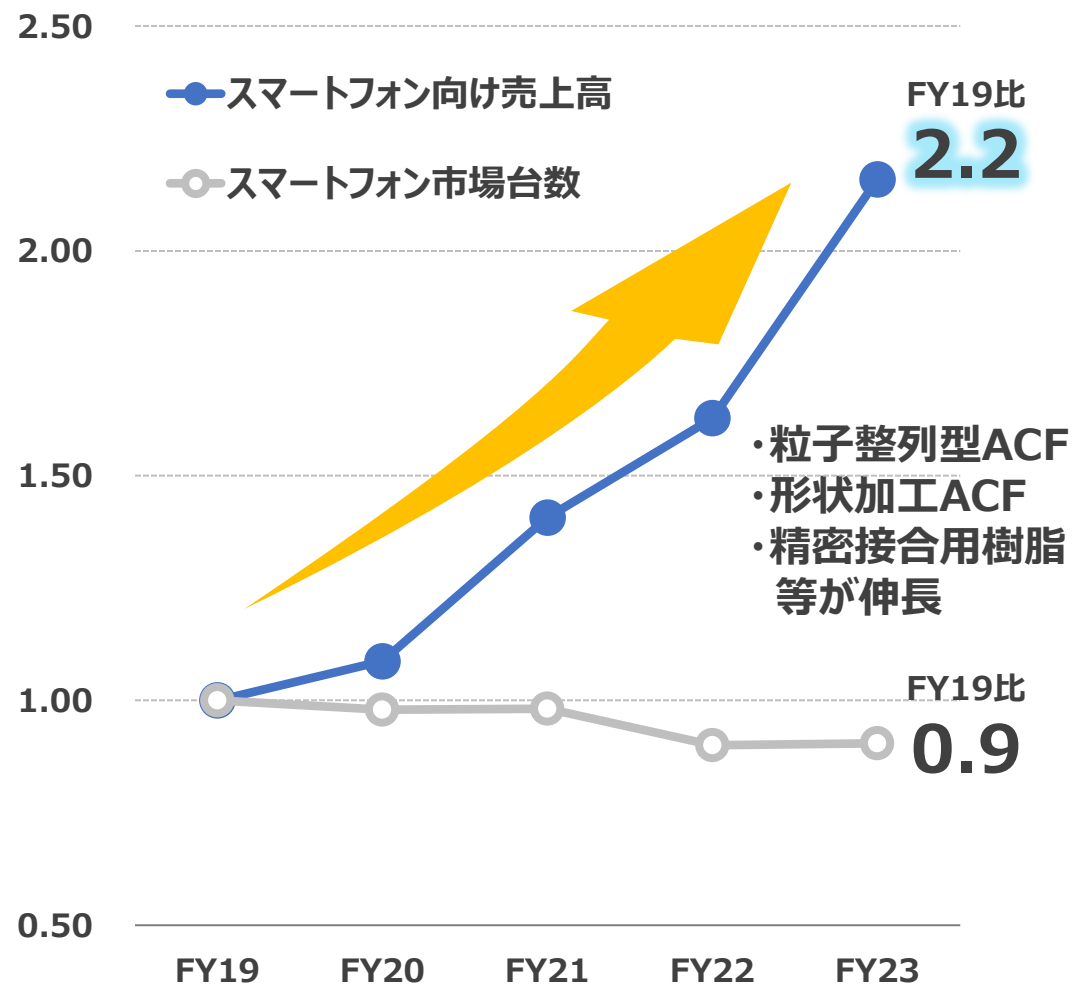
お客さまの気づいていない**技術的課題**を
先回りして発見しソリューションを開発・提案

①	ユニークな顧客アプローチ	直接顧客と最終顧客の双方のお客様へのアプローチ
②	対話力 × 提案力	お客様の課題や要望を引き出した上で、真の課題を見つけ出し、お客様の期待を超える価値の製品を提案
③	技術力 × 分析力	お客様の期待を超える製品開発の基礎となるのが、卓越した技術力と確かな分析力
④	スピーディーな顧客対応	国内外に営業/エンジニアリング拠点を配置。顧客の要望をタイムリーに入手し、現地で対応可能なものは即時対応

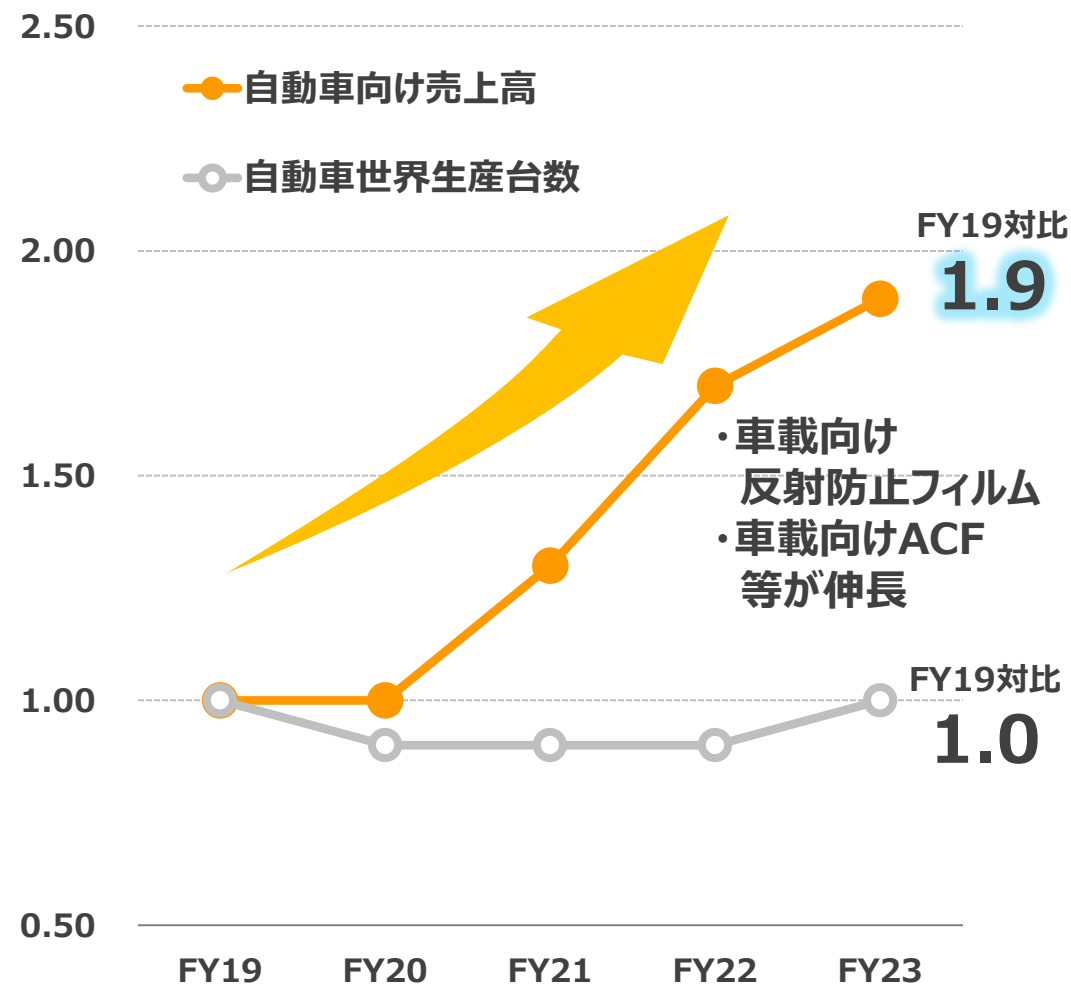


市場の成長を上回る事業成長を達成 – 市場環境に左右されず成長できる事業体質へ–

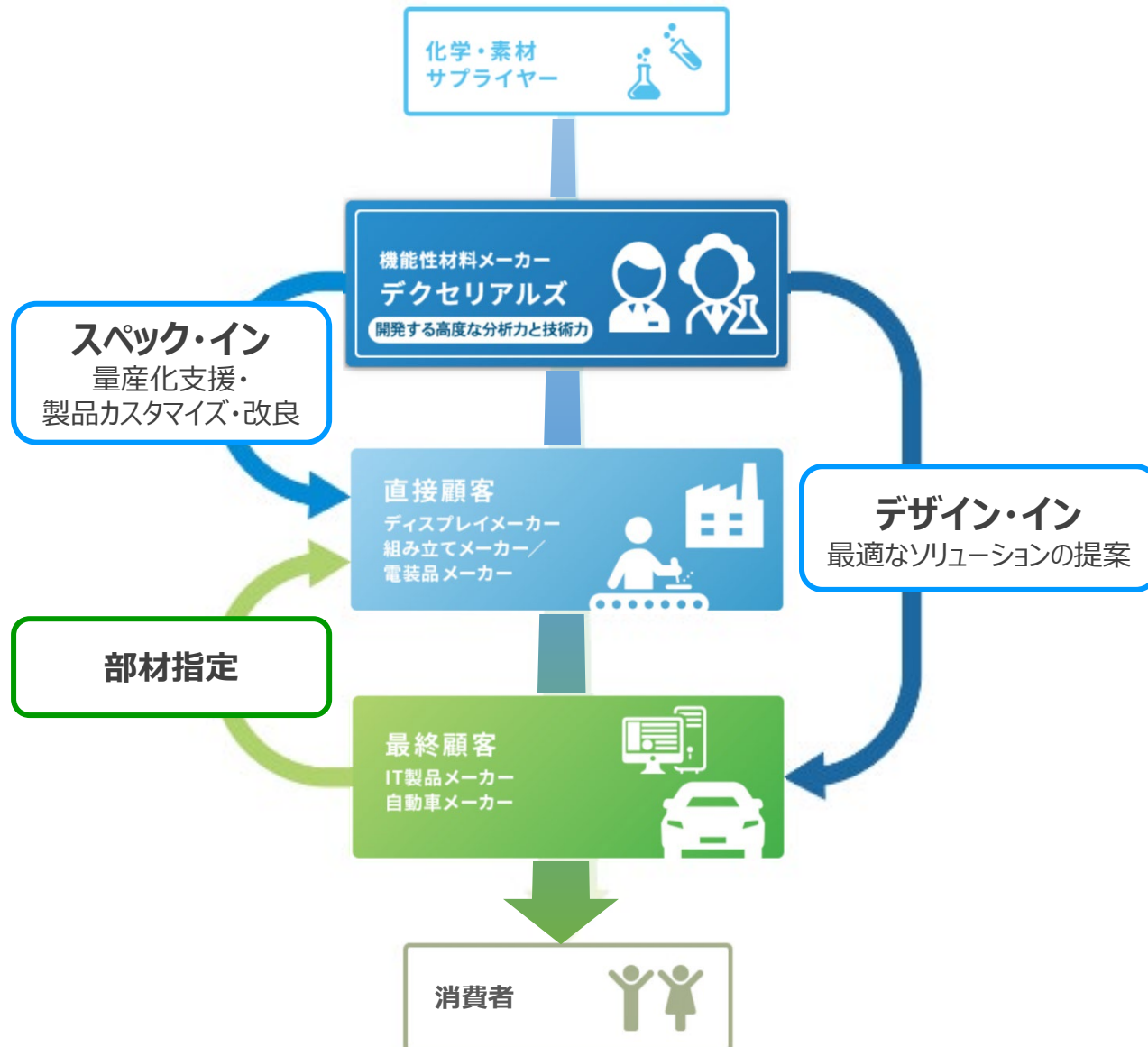
◆スマートフォン向け売上高 vs スマートフォン市場規模 (FY19=1)



◆自動車領域売上高 vs 自動車市場規模 (FY19=1)



ビジネスモデルを他業界に展開し、持続的成長を図ります



【シングルソース製品による高収益性】

- 顧客との対話を通じた技術トレンドの先読みによるシングルソース製品の成長が新たな市場を創出、オンリーワンのポジションで高い収益性を実現



【技術進化が求められる領域に広く展開】

- 多様な知見を持つプロフェッショナル人財の掛け合わせが、技術の進化に不可欠なソリューションを創出
- 効率化に向けて技術の進化が求められる自動車、光半導体などの幅広い領域に事業展開が可能

本日の内容

1

デクセリアルズ株式会社について

2

持続的成長に向けた取り組み -中期経営計画2028-

3

株主還元

中期経営計画2023「進化への挑戦」の総括

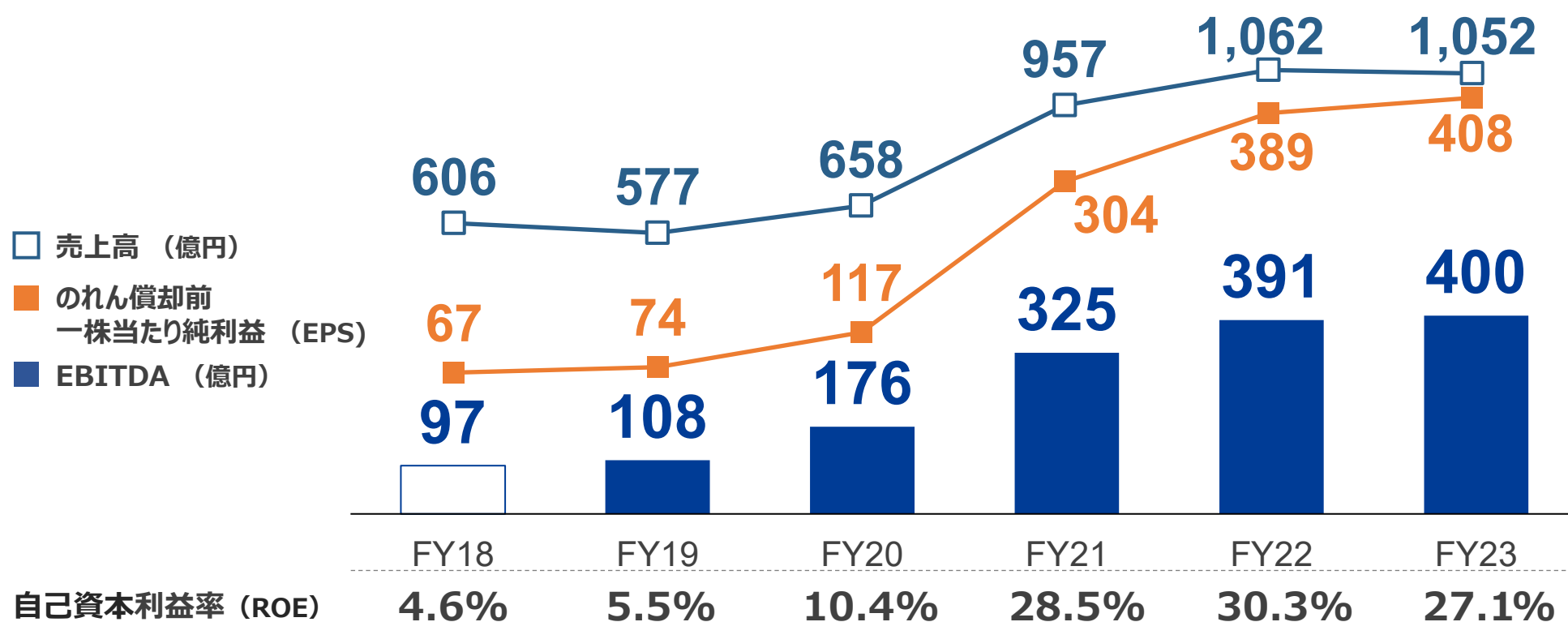
当初計画を3年、上方修正したリフレッシュ計画を2年それぞれ**前倒しで達成**
売上高は**1,000億円を超え**、稼ぐチカラを示す**EBITDAは4倍以上に**

位置づけ

中期成長戦略と企業変革の実現で
持続的成長と企業価値向上の礎を築く

中計リフレッシュ時目標
(2021年5月公表)

□ 売上高 (億円)
■ のれん償却前
一株当たり純利益 (EPS)
■ EBITDA (億円)



852

157

239

FY23

15.0%以上

成長投資と株主還元の両立により、持続的成長と企業価値向上を実現します

パーパス

Empower Evolution. つなごう、テクノロジーの進化を。

基本方針

- ① 成長領域での事業拡大 ② 既存領域における事業の質的強化 ③ 経営基盤の進化

FY2028

売上高、利益ともにFY2023比 **1.5** 倍を目指す

売上高	事業利益	EBITDAマージン
1,500 億円	500 億円	43 %
一株あたり純利益 (EPS) *	投下資本利益率 (ROIC)	自己資本利益率 (ROE)
626 円	14 %程度	25 %程度

為替レート (円/米ドル) : 135.0

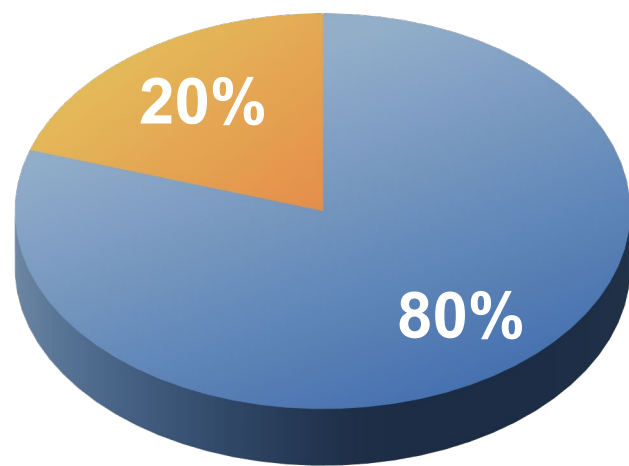
* 株式分割前

成長領域での事業の成長により事業ポートフォリオを拡大、持続的成長を実現します

2023年度（実績）

売上高

1,052 億円



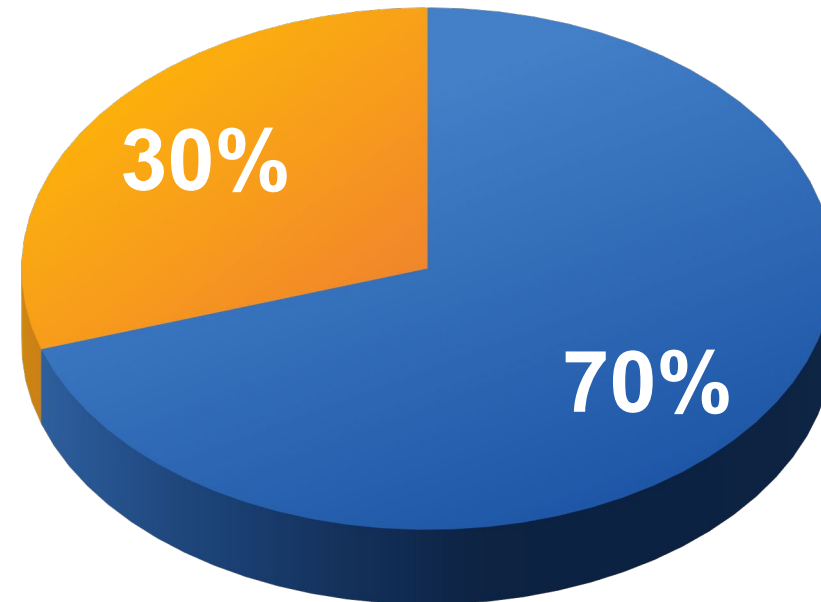
■ 既存領域 ■ 成長領域

※ 既存領域：エレクトロニクス事業など
成長領域：自動車事業、フォトニクス事業

2028年度（計画）

売上高

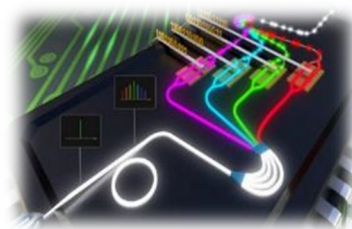
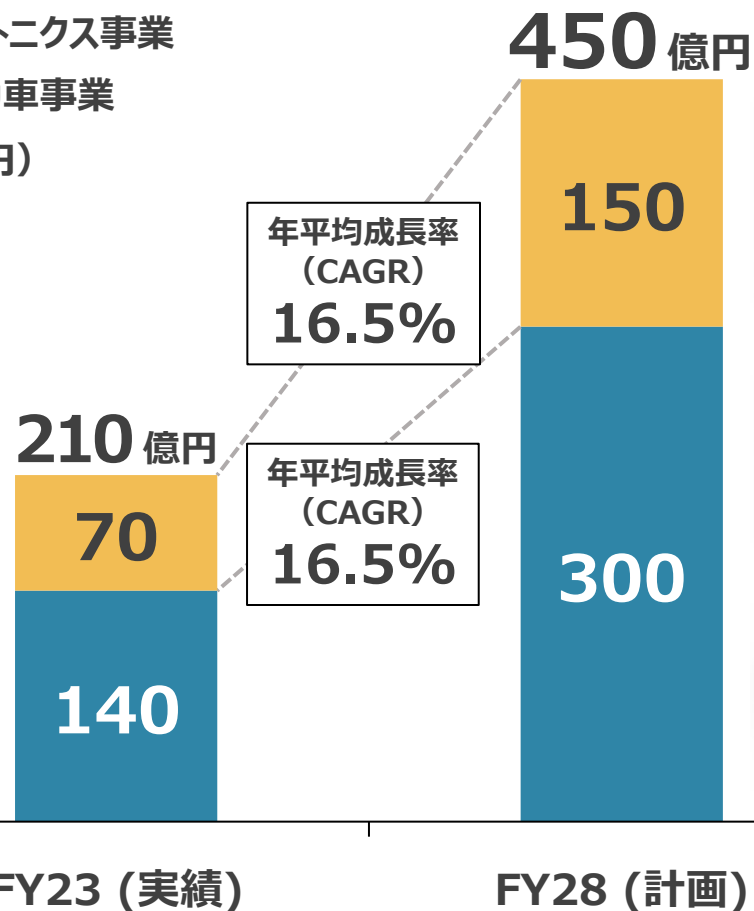
1,500 億円



成長領域として、自動車・フォトリクスでの事業成長を加速します

成長領域 事業規模（売上高）

■ フォトリクス事業
■ 自動車事業
(億円)



成長領域 事業戦略

フォトリクス事業

- 生成AIの浸透による、通信量増大
- データセンターの需要増、高速化要求に対応した高速フォトダイオードの採用拡大

自動車事業

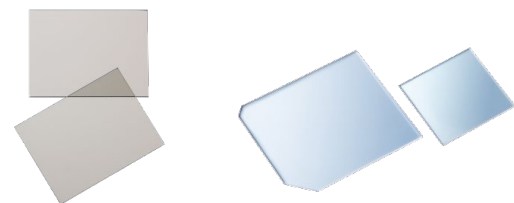
- 100年に一度の変革「CASE*」の進展
- 車載ディスプレイ向け反射防止フィルムのさらなる拡大
- センサーモジュール向け精密接合用樹脂の拡販

* CASE : Connected, Autonomous/Automated, Shared, Electric
の頭文字をとった造語

フォトニクス事業の全体像

マイクロデバイス、光半導体デバイス、それらの複合デバイス等を開発・製造しています

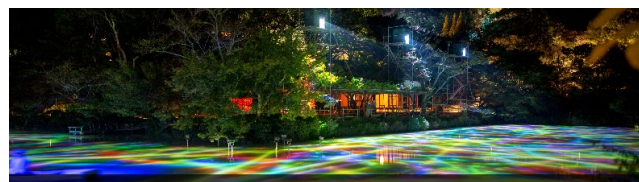
光をコントロールする技術



マイクロデバイス
(無機拡散板、無機偏光板 など)



高輝度プロジェクター



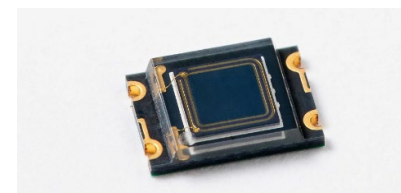
プロジェクションマッピング

デクセリアルズ
フォトニクス ソリューションズ(株)

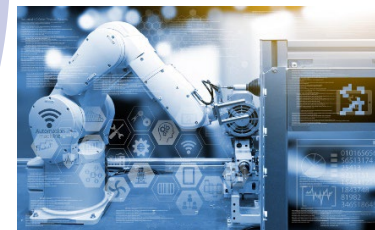


フォトニクス領域の技術を掛け合わせ
独自のソリューション創出

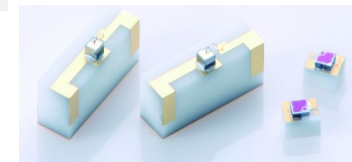
光半導体の技術



センサー向けデバイス



FA機器



通信向けデバイス



データセンター

フォトニクス事業における光半導体事業

◆光半導体デバイスを提供しています 受発光半導体デバイス・複合半導体 デバイスを開発、製造、販売しています

光半導体とは

- 光と電気を変換する半導体、主に化合物半導体が主材料
- 材質で光電変換の波長コントロール
- 当社は化合物半導体のノウハウの蓄積が強み

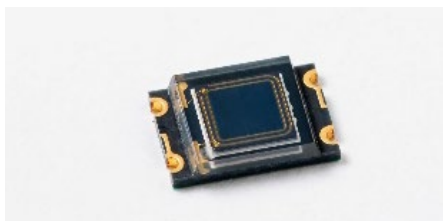
5G, Beyond 5Gの通信インフラおよびIoT機器に欠かせないデバイス

光センシング用デバイス

光を検知して電気信号化する受光素子

《 用途 》

FA、金銭機器、医療機器・ヘルスケア
分析・計測機器、IoT など



ファクトリーオートメーション（FA）
向けで大手顧客をもつ

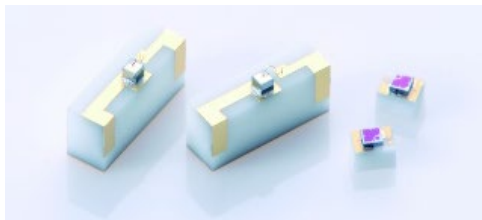
光通信用デバイス

電気信号と光信号を相互に変える

受発光素子

《 用途 》

光通信、モバイル通信ネットワーク基地局向け
データセンター向け など



高い市場成長5GやBeyond 5Gで
優れた製品をもつ

身の回りのこんなところに使われています



FA機器



パルスオキシメーター

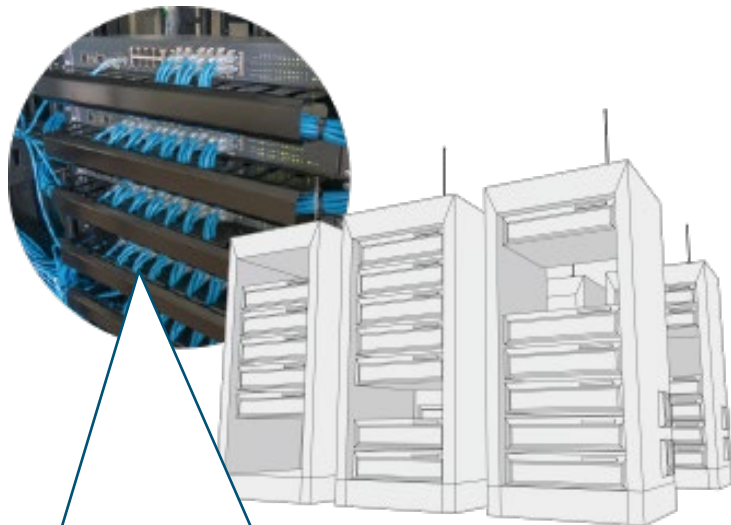


金銭機器



煙検知器

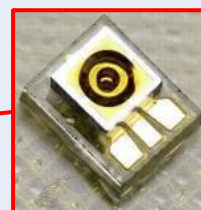
生成AI向けなどのデータセンター需要で拡大する市場で、独自の製品を展開



データセンター

- ・サーバーコンピューターやそこからデータを送る機器をまとめた施設
- ・生成AIなどで需要が大幅に増加

高速フォトダイオード

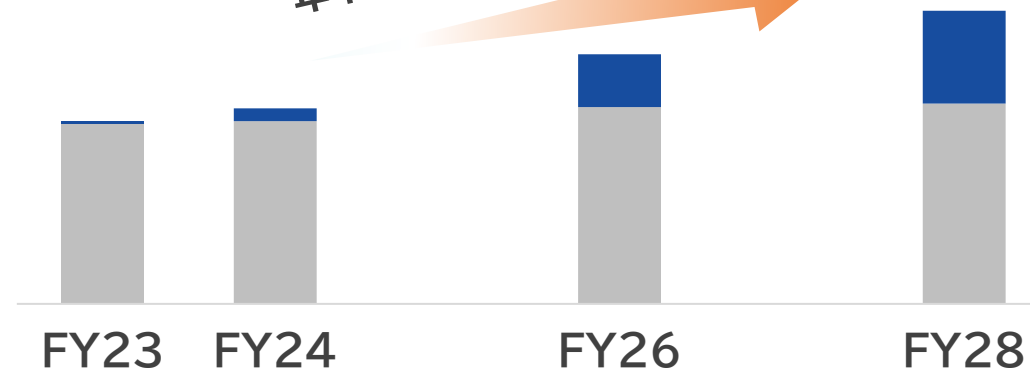


- ・光信号と電気信号を相互に変換する半導体
- ・データセンターで、光信号と電気信号を変換する「光トランシーバー」のキーデバイス

光トランシーバー向け高速フォトダイオード

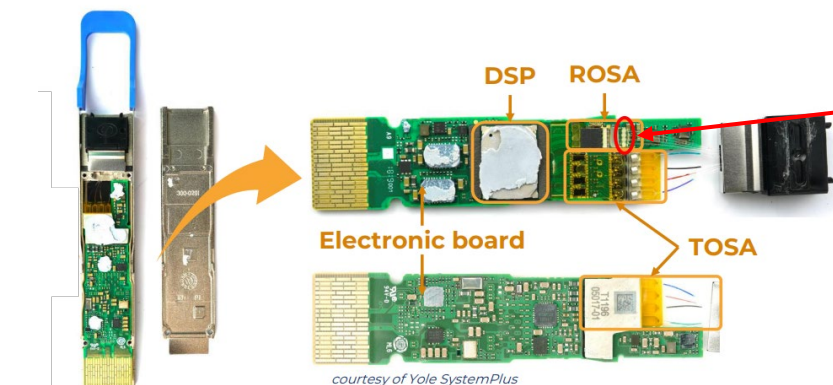
- 次世代：800Gbps以上
- 現行：800Gbps未満

800Gbps以上の高速フォトダイオード台数*
年平均成長率 (CAGR) 109.0%



- 大手顧客からの需要・要望
- 増産投資を実行し、需要に対応

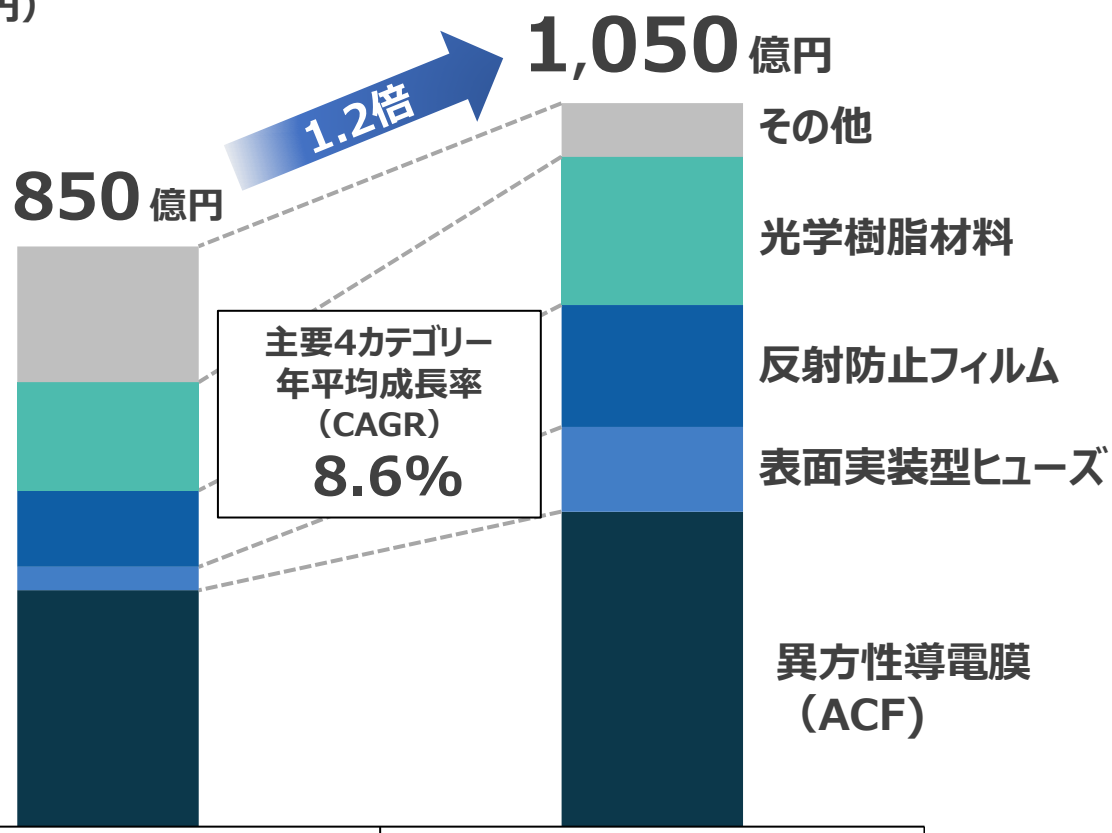
* 引用元：LightCounting社 市場分析情報より



既存領域では、高付加価値製品を軸に事業拡大し、成長を継続します

既存領域 事業規模（売上高）

（億円）



FY23 (実績)

80%

全社売上
に対する割合

FY28 (計画)

70%

既存領域 成長ドライバー

表面実装型ヒューズ

- 採用製品の多様化、台数増
- 多様な機器の電動化、リチウムイオンバッテリーの二次保護回路規制強化など、中長期的なトレンドを捉える



異方性導電膜 (ACF)

- 有機ELディスプレイ (OLED) の最終製品への採用拡大、粒子整列型ACFが成長継続
- マイクロLEDディスプレイへの採用活動進行中



持続的成長を支える強固な経営基盤へ進化させていきます

営業機能強化

ビジネスモデルの さらなる強化

- 海外におけるデザイン・イン&スペック・インの強化
- パートナースhipによる
ディストリビューション強化、
業績変動の抑制

人と技術の強化

マテリアリティの強化 (当社にとっての重要課題への対処)

- 研究開発のさらなる強化
- 技術人財の確保と
グローバル人財の強化

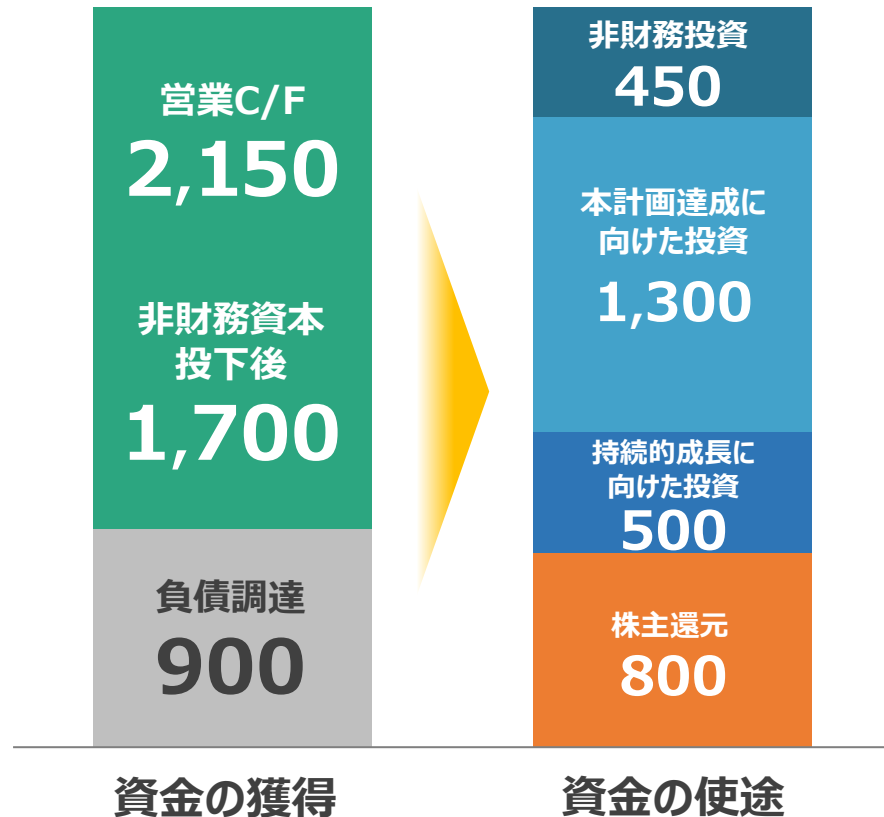
製造機能強化

生産年齢人口減少を 見据えた効率化

- デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進による、スマートファクトリー構築
- BCP機能の強化

最適資本構成を踏まえた成長投資と株主還元の両立を目指します

中期経営計画期間 5年間累計 (億円)



非財務投資

- 重要課題（マテリアリティ）である「人・技術」への投資

本計画達成に向けた投資

- 前中計の「約3倍」の投資を計画
- 投下資本利益率（ROIC）目標 14%程度

持続的成長に向けた投資

- 蓋然性が高まった際の「追加投資枠」を確保
- 投資機会がない場合は追加還元を検討

株主還元

- 総還元性向「60%」を目途に還元（5年間累計）
- 配当性向 40%を目途として、株主資本配当率（DOE）7%下限とする方針

財務戦略

- 純有利子負債倍率（ネットD/Eレシオ）：0.45x、自己資本比率:50%を目安（FY28）

本日の内容

1

デクセリアルズ株式会社について

2

持続的成長に向けた取り組み -中期経営計画2028-

3

株主還元

稼ぐ力の向上に伴い、株主還元方針を拡充する方向で見直しました

株主還元方針

成長投資と株主還元の両立による持続的成長と
さらなる企業価値の向上を目指して、還元方針を見直し

総還元性向 *

40 %目途

FY19-23還元額

約 350 億円

* のれん償却前当期純利益に対する総還元性向

総還元性向 **

60 %目途

** 5年間累計

配当性向

40 %目途

株主資本配当率
(DOE) ***

7 %以上

*** 前期末純資産額に対して7%

FY24-28還元額 800 億円程度

株式分割

当社株式の流動性の向上と、投資家層の
拡大を目的として分割を実施予定

1 株につき、3株

の割合をもって分割

基準日 2024年9月30日

効力発生日 2024年10月1日

今期の配当予定

1 株あたり中間78円、期末26円を予定

(分割考慮前年間配当156円/株相当)

外部評価の向上、インデックスへの組入れ

「日経半導体株指数」

2024年2月
構成銘柄に選定

株式会社日本経済新聞社が開発した時価総額の大きい半導体関連銘柄30社で構成される株価指数

「JPX日経インデックス400」

2023年8月
構成銘柄に2年連続で選定



株式会社JPX総研および株式会社日本経済新聞社が共同で算出するインデックス

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」

2023年12月
構成銘柄に連続選定



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

英国FTSE Russell 社が提供するグローバル基準を満たす日本企業を対象としたESG投資株価指数

「SOMPOサステナビリティ・インデックス」

2024年6月
構成銘柄に6年連続で選定

SOMPOアセットマネジメント株式会社が
独自に設定するアクティブ・インデックス



「MSCI*日本株女性活躍指数（WIN）」

2023年12月
構成銘柄に連続選定

2023 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」

2024年3月
3年連続で認定



*デクセリアルズがMSCIインデックスに採用されていること、及びMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社によるデクセリアルズへの後援、保証、販促には該当しません。
MSCIインデックスはMSCIに独占権があり、MSCI、MSCIインデックス名及びロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

持続可能な成長を続ける企業へ

新たな成長ステージに向けて

～パーパスを基軸とした
サステナビリティ経営に向けたストーリーの構築～

代表取締役社長

新家由久

2023年度、デクセリアルズは中期経営計画 2023「進化への挑戦」の最終年度を迎えています。

2019年度からの4年間で、変化に強く特定の領域に依存しない体質へと進化すべく、「稼ぐ力」の向上や経営基盤強化を図り、業績面での目標数値は前倒しで達成してきました。

次期中期経営計画では、より高い視座をもち、パーパスを基軸とした、経済的価値と社会的価値の両立によって持続的成長と企業価値の向上を目指すという、サステナビリティ経営に向けたストーリー構築を進めています。



社会課題解決のためのデジタルテクノロジーの進化に不可欠な
製品や技術、ソリューションを通して社会に貢献
持続的に成長する企業を目指す



デクセリアルズ統合レポート2023 P.12

https://ssl4.eir-parts.net/doc/4980/ir_material_for_fiscal_ym3/145013/00.pdf

もっとよく知る デクセリアルズ①

トップ
ページ



「個人投資家のみなさまへ」
随時更新中

投資家
情報



デクセリアルズ ホームページ
<https://www.dexerials.jp>



製品紹介やサステナビリティの取り組みなど
当社ホームページでご紹介しております

もっとよく知る デクセリアルズ②

統合 報告書

毎年統合報告書を発行



デクセリアルズ統合レポート 2023

<https://www.dexerials.jp/csr/download>



TECH TIMES

当社の技術や製品をわかりやすくご紹介



TECH TIMES

<https://techtimes.dexerials.jp>



Empower Evolution.

つながろう、テクノロジーの進化を。

